

教育支援だよりは、先生方と支援教育に関する「こんなこと良かった!」「役に立った!」といった情報共有を目的に発行しています。瀬谷養護学校の取り組みを多くの方に知ってもらうためのおたよりです。

## まっちゃんの今月のつぶやき ～「伝える」と「伝わること」～

「困ったな…うまくいかないな…」 新年度が始まって一か月がたちました。

教室が変わり、担任が変わり、大人も子どもも戸惑いの中、持ち上がりの担任は別として、

初めての子どもたちと向き合う日々、なかなかしんどいものはありませんでしたか？

「前の担任とはできていたのに…」 「他の先生にはそんなことはしないのに…」

人と比べて自分の力のなさに、しょんぼりしたり…

1学期のはじめは「そんなもんだ」とわかってはいても、週末や連休を励みに4月を乗り

切った人は意外と多いのではないかと思います。

かく言う私も、**私が伝えてもスルーされるのに、他の先生が話す**と**伝わる**という場面に、

何度も出会っています。それって、結構、こたえますよね？（笑）

**伝えつつもいが伝わらないのは、**

### ①送り手の意図が受け手にキャッチされていないから

「ことばの指示だけだったから?」「口調や声のトーン、速さの問題?」

「1度に言うことばが多すぎた?」「表情（目力）が弱いのかな?」

### ②意図は伝わっているけれど、やろうという気になるだけの関係性が不足しているから

子どもの中に「この人はこんな人」という受け入れがまだできていない

いうことを聞いた結果、いいことがあるという因果関係がまだ育っていない

（いいこと＝その先生の笑顔、認められるうれしさ、できた喜び、などなど）

（いうことを聞かないと嫌なことが待っている、というのはNGですよね?）

そんなわけで、しばらくはこの「伝える」「伝わる」について、この欄をお借りして

つぶやいていこうと思います。どうぞ、よろしくお願いします。 （教育支援チーム）

# 瀬谷養護学校 支援室（教育支援チーム）専門職紹介

困った時の応援団です。まずは支援室へ。一緒に考えましょう！

## OT（作業療法士）

身の回りなこと(食事や着替え、歯磨き、トイレなど)、手先の使い方(ボタンかけや鉛筆の持ち方等)、身体の使い方(学習中に姿勢が崩れないようにする等)などについて一緒に考えていきます。行動面では感覚の視点から考え支援方法を考えます。実は感覚過敏が強くて情緒不安定だったなんて分かることがあります。他にも支援グッズや補装具、福祉機器等の紹介、簡単に作製出来る物の紹介を行います。

## ST（言語聴覚士）

- 言葉に関わること（理解や表出、認知、文字や数の学習、聞こえ、構音、吃音など）
  - コミュニケーションに関すること（対話や代替手段の指導）
  - 摂食嚥下について（給食や歯磨き指導）
- 実態把握や課題設定など担任の先生方と話し合いながら子どもの支援に取り組んでいきたいと思えます。

## 教育相談コーディネーター

今年度から教育支援担当になりました。  
「何かちがうな…」「ちょっと気になるな…」など担任の先生だからこそ気づいたことを、支援室にも教えていただければと思います。支援室の先生方と一緒に考えていきましょう！

※県立の特別支援学校にはPT、心理職も所属しており、相談をお願いすることができます。

## PT（理学療法士）

- 姿勢保持や運動の特徴についての実態把握
- 身体の特徴や変化への助言
- 医療ケアなどが必要な児童生徒へのかかわり方への助言
- 補装具（車いす、補装靴、体幹装具等）の使用についての助言、及び外部機関（病院等）との連携

## 心理職

問題行動(例：こだわりが強すぎて他の児童生徒が困ってしまう)に対する対応の仕方や、学習環境の整え方(例：視覚的な手がかりを有効に使う)、情緒や対人関係の学びへの支援や、社会性を養うための支援と一緒に考えていきます。